

平成21年度	施設名（愛称名）	下田市立白浜老人憩の家	番号	44
--------	----------	-------------	----	----

平成21年度

施設評価調書

施設の名称……下田市立

白浜老人憩いの家

所管担当課……福祉事務所

平成21年7月

平成21年度

施設名（愛称名） 下田市立白浜老人憩の家

番号 44

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立白浜老人憩の家		2 担当課 担当係	福祉事務所 社会福祉係		
3 所在地	下田市白浜 1260 番地の 1		4 設置年月	昭和 30 年以前		
5 総合計画の 位置付け	IV 安心と安全づくり	ともに生きる福祉のまちづくり		高齢者福祉		
	施策体系	生きがい対策の充実		学習・交流の促進		
	主要事業	老人保健施設整備事業		老人保健施設の整備		
6 設置目的	老人に対し、余暇、自由時間の適切な活用を図り、積極的に娯楽、趣味レクリエーション等の場を提供して老人の心身の健康の増進を図るとともに老人に生きる喜びを与えるための施設。					
7 設置根拠	下田市立老人憩の家設置管理条例					
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 347.1 m ² 建物構造 木造平家建				
		建物面積 95 m ² 平成 21 年 1 月 1 日廃止				
	会議室(33 帖)、和室(6 帖)、厨房、トイレ		利用人員 50 人			
	実施事業 の概要	原則 60 歳以上の高齢者の憩いの場の提供				
	料金体系	料金区分	施設使用料 ・高齢者（原則 60 歳以上） 無料 ・高齢者以外の者 下記の料金による。			
		主な料金	料金算定 使用単位 1 回につき 午前（9 時から 12 時まで） 普通使用料 1,000 円 入場料徴収 2,000 円 午後（13 時から 17 時まで） 普通使用料 1,000 円 入場料徴収 2,000 円 夜間（18 時から 21 時まで） 普通使用料 1,000 円 入場料徴収 2,000 円			
		減免内容	（使用料の免除） 第 6 条 市長は、前条の規定にかかわらず、次の各号に該当する場合は、使用料を免除することができる。 （1）市が主催し、又は委託する事業に使用する場合 （2）市が認めた社会福祉関係団体が使用する場合 （3）その他市長が適当と認めた場合			
		利用料金制度	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
施設運営 方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営					
	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →	指定管理者				
	<input type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容				
直接従事職員	下田市職員数 0 人（間接従事 1 人） 委託団体職員数 0 人					
9 市内の 類似施設	下田市所有	下田市立老人憩の家				
	民間所有	なし				

平成21年度	施設名(愛称名)	下田市立白浜老人憩の家	番号	44
--------	----------	-------------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成20年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格0円 ・新設翌年度から償却 ・耐用年数経過	
	土地取得費	借地	土地残高				
	建物取得費	不詳	建物減価償却後残高	0円			
	財源内訳						
	県支出金						
	市債		市債残高	0円			
	一般財源						
	寄附金等						
物品(*万円以上)			物品減価償却後残高				
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H18年度決算	H19年度決算	H20年度決算	H21年度決算	
	収入	使用料	248,000	157,000	150,000		
	収入合計		248,000	157,000	150,000		
	支出	清掃人夫賃金	0	0	0		
		消耗品	0	2,100	0		
		光熱水費	62,927	57,637	55,295		
		燃料費	0	5,430	3,990		
		修繕料、工事費	0	272,688	1,207,500		
		火災保険	8,170	8,170	8,170		
		浄化槽業務	12,390	12,390	6,500		
		浄化槽点検清掃	9,765	9,765	22,995		
		テレビ視聴料	0	0	0		
		社協負担金	0	0	0		
	借地料	288,440	288,440	288,440			
	支出合計		381,692	656,620	1,592,850		
	職員人件費		0	0	0		
	減価償却費		0	0	0		
	市債利子		0	0	0		
	下田市負担年間総経費		133,692	499,620	1,442,850		
	備考	○ 人件費は、実額を算出記載(正職員・嘱託職員等の人件費総額)					
	12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
利用件数			170件	185件	92件	一件	
利用者数			1,510人	1,709人	685人	一人	
利用種別			老人	22回	40回	21回	一回
			白浜区	20回	31回	3回	一回
			珠算塾	86回	84回	64回	一回
			書道塾	36回	0回	0回	一回
会議他		6回	30回	4回	一回		
参考:利用単位当たり市負担額		89.9円/人	292.3円/人	2,103.4円/人	一人/人		
休館日		日曜日 祝日 12月28日から1月4日まで					
使用時間	午前9時30分から午後9時まで						
13 利用者満足度調査	実施の有無						
	直近の実施時期	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
	調査手法						
	調査数						
		調査結果					

平成21年度

施設名（愛称名） 下田市立白浜老人憩の家

番号 44

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区 分		単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
	利用者数の目標値		人	1,684人	1,700人	1,700人	一人	
	// の実績		人	1,510人	1,709人	685人	一人	
	目標達成度		%	89.67%	100.5%	40.3%	-%	
選択した指標	<input type="checkbox"/> 成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標							
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由 老人に対し、余暇、自由時間の適切な活用を図る。 積極的に娯楽、趣味レクリエーション等の場を提供する。 老人の心身の健康の増進を図る。 老人に生きる喜びを与えるための施設。 左記を計る適切な指標を持っていないため、老人の利用者数をもって指標とする。高齢者のための施設であり、高齢者の利用者数を成果指標の代替指数とした。							
指標設定の考え方	区 分	指 標 名		指 標 の 考 え 方				
	成果指標	高齢者に対し、余暇、自由時間の適切な活用		端的に示す成果指標の設定が難しい				
		高齢者に対し、積極的に娯楽、教育、趣味等の場を提供		端的に示す成果指標の設定が難しい (高齢者の利用状況の内容を把握し、数値で示すことが必要である。具体的に利用種別による、利用回数をしめす。)				
		高齢者の心身の健康の増進を図る		端的に示す成果指標の設定が難しい				
代替指標	高齢者の利用者数		高齢者のための施設であり、高齢者の利用者数を成果指標の代替指数とした。					
(参考)								
活動指標（施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標）								
活動指標			区分	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
活動指標①	目標指標	高齢者の利用回数	目標値	回	96回	96回	96回	一回
			実績値	回	22回	40回	20回	一回
			達成度	%	22.9%	41.6%	20.8%	-%
目標指標の考え方	開館日287日に対し、1/3 高齢者が利用することを目標とし96回とした。（広岡に比べ老朽化等を考慮した為目標値を下げた。）							
活動指標②	目標指標	なし	目標値					
			実績値					
			達成度					
目標指標の考え方	なし							
活動指標③	目標指標	なし	目標値					
			実績値					
			達成度					
目標指標の考え方	なし							

平成21年度	施設名(愛称名)	下田市立白浜老人憩の家	番号	44
--------	----------	-------------	----	----

2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
	施設の総利用者数等①		人	1,510人	1,709人	685人	—人
	年間経費②	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	381,692円	656,580円	1,592,150円	—円
	利用単位当たり経費	②÷①	円/人	252.78円/人	384.39円/人	2,325.3円/人	—/人
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等に用いた指標について記載してください。	施設の利用目的から、適切な指標をもっていないため、前年の利用者数をもって指標とする。		備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。		現在の施設は昭和30年以前の築であり、老朽化が進んでいるため平成21年1月1日条例廃止。建物は3月24日をもって取り壊し済		

その他の指標			区分	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
目標指数①	目標指数	施設稼働率	目標値	日	287日	287日	287日	—日
			実績値	日	194日	164日	92日	—日
			達成度	%	67.5%	57.1%	32.1%	—%
	目標指数の考え方	目標値は開館日数を当てはめた。実績は利用日数とした。						
目標指数②	目標指数	使用料収入	目標値	円	246,000	246,000	200,000	—
			実績値	円	246,000	157,000	150,000	—
			達成度	%	100.8%	63.8%	75%	—%
	目標指数の考え方	目標数値は予算計上額とした。 19年度以降は使用区分を2区分から3区分に増やすことで効率化を図る。						
目標指数③	目標指数	なし	目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指数の考え方	なし						

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H18年度	H19年度	H20年度
	①有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円	381,652円	656,620円	1,592,850円
	②受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円	248,000円	157,000円	150,000円
	③受益者負担比率	②÷①	%	64.98%	23.91%	9.42%
	④補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円	248,000円	157,000円	150,000円
	⑤補正受益者負担比率	④÷①	%	64.98%	23.93%	9.42%

【参考】

運営に掛かる税負担(市民負担)	年度		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
	人口(4月1日:人)		26,621	26,197	25,549	—
	人口1人あたり(円/人)	運営経費(収入除く)	5.0	19.1	56.47	—
		年間総経費	5.0	19.1	56.47	—

平成21年度	施設名(愛称名)	下田市立白浜老人憩の家	番号	44
--------	----------	-------------	----	----

施設の現状分析

	判断視点	項目	施設の状況	
施設方向性の判断視点	①	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	本施設は、現在市が直営で管理しているが、使用内容が本来の主旨である高齢者の活動活性、交流の場というより、地域住民の生活文化の振興等、公民館的な内容で使用されている傾向がある。	
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	近隣地域におけるコミュニティーホール・公民館的な役割を果たしている。	
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めているか	現施設では、今以上の効果を求めるのは限界である。	
	②	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどうなっているのか	老朽化が進んでおり、廃止済
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	廃止済	
	③	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	廃止済。
		民間においても十分可能な施設なのか	民間においても十分可能な施設なのか	廃止済
	④	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	廃止済
			同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか	廃止済
			計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうか	廃止済
			施設の耐用年数は何年有るのか	廃止済
			施設の今後の維持経費の算定はどうか	平成21年3月24日取り壊し済
行政規模からの判断視点	①	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	廃止済
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	老朽化が進んでいるので廃止済。 平成21年1月1日	
	②	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	廃止済
			施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか
	③	施設統廃合が可能な施設はないのか	老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	廃止済
			地域、民間に譲渡できないのか	借地のため解体して地主に返還済。
			施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	廃止済(取り壊し)。
	その他			

平成21年度

施設名（愛称名） 下田市立白浜老人憩の家

番号 44

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	廃止
	受益者負担の妥当性	廃止
	実施主体の妥当性	廃止
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	廃止
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	特になし。
	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策	特になし
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	特になし。
アンケート調査等	市民アンケート調査等の結果	特になし
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	特になし。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	特になし。

平成20年度事業内容及び見直し事項

事業内容	平成21年1月1日 条例廃止 建物は平成21年3月24日（取り壊し）土地は地主に返還済。
見直し事項	

平成21年度

施設名（愛称名） 下田市立白浜老人憩の家

番号 44

施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 効率化等による見直し <input type="checkbox"/> 現状のまま継続等 <input type="checkbox"/> 縮小等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合を進める	(具体的な内容) 平成21年3月31日取り壊し地主に返還
--------	--	---------------------------------